

デザイン I

問 1

以下の各人物について、最も適当と思われる解説を a～h の中から選び、記号で解答しなさい。

- ① エーロ・サーリネン
- ② アドルフ・ロース
- ③ ジョサイア・ウェッジウッド
- ④ ル・コルビュジエ
- ⑤ アルヴァ・アールト
- ⑥ ミース・ファン・デル・ローエ
- ⑦ ジャン・プルーヴェ
- ⑧ ペーター・ベーレンス

解説

- a. 1923 年に刊行された著書『建築をめざして』のなかに、清潔の美について述べた「住宅のマニュアル」がある。1920 年代の彼の建築においては、衛生のイメージが重要視されていた。
- b. 20 世紀フィンランドを代表する建築家、デザイナー。成形合板を使った斬新なデザインのパイミオ・チェアや、湖をかたどったといわれるガラスの花瓶で知られる。
- c. フランス、ナンシーに生まれ、アール・ヌーヴォーの拠点に育ち、鍛冶職人の経歴をもつ建築家、デザイナー。家具の工場生産やモジュールを用いた建築システムなど、工業的生産に寄与した先駆者として知られる。
- d. オーストリア、ウィーンの建築家。近代建築のテーマのひとつである装飾の排除を問題にした人物である。シュタイナー邸においてその主張を実践した。
- e. 一本脚の椅子「チューリップ・チェア」など、プラスチック樹脂を材料とした椅子で知られるフィンランドの建築家、デザイナー。建築の代表作には、トランス・ワールド空港ターミナル・ビルがある。
- f. イギリスの窯業家。陶器の販売や製造に導入した変革により成功をおさめた企業家としても知られる。工業生産における陶器デザインに新古典主義を取り入れた。
- g. 1907～1914 年までドイツの企業 AEG の専属デザイナーを務めた。代表作として巨大なガラス面の外壁を実現した AEG タービン工場がある。ドイツ工作連盟の会員であり、芸術家と手工業、工業、商業の協調を主張した。
- h. 近代建築巨匠の一人であり、バウハウスの校長も務めた。キャンチレバーを駆使した椅子のデザインで知られる。

問2

以下の文章の空欄に、下の語群から最も適切と思われる人物名、事項名などを記号で選び、解説を完成させなさい。

1)

アール・ヌーヴォーの様式がヨーロッパ中に開花した時期は(①)である。その後、芸術のあらゆる分野に浸透していった。アール・ヌーヴォーの発展にかんする人物として、国別にみると(②)では、アーツ・アンド・クラフツ運動に参加したウィリアム・モリスや、『サロメ』の挿絵を描いた画家オーブリー・ビアズリーなどが知られている。この頃に、グラスゴーにおいて革新的なデザイン活動を行っていたのが(③)を中心とするグラスゴー派である。彼の代表作として(④)がある。

語群

a. イギリス b. フランス c. ドイツ d. 19c初 e. 19c中 f. 19c末 g. パントンチェア h. ハイバックチェア
i. ダイヤモンドチェア j. チャールズ・レニー・マッキントッシュ k. チャールズ・イームズ l. ヨーゼフ・ホフマン

2)

中部イタリアを中心に始まり、古典古代の文化を再発見していった動きは、ルネサンスと呼ばれる。この動きは、豊かな都市(⑤)を中心とする15世紀の初期ルネサンス、ローマに各地から人が集まった16世紀初頭1530年頃までの盛期ルネサンスとに分けられる。再生すべきものとして古典古代の文化を求めるにあたり、建築では古代(⑥)の建築家、ウィトルウィウスによる『建築十書』などが参照された。ウィトルウィウスの理論をもとに、(⑦)は『ウィトルウィウスの人体図』を描き、(⑧)の法則を表現した。

語群

a. ギリシア b. ローマ c. フィレンツェ d. ミラノ e. ヴェネツィア f. 黄金比
g. シンメトリー h. プロポーション i. レオナルド・ダ・ヴィンチ j. フィリッポ・ブルネレスキ k. ミケランジェロ

デザインⅡ

問

1) 以下の3つの語群のなかで、関連が深いと思われるもの同士を重複しないように結びつけ、その記号を回答欄に記入しなさい。

第1群:作品

1. 「AQUOS (アクオス)」テレビ
2. 「イヴ・サンローラン」ファッション
3. 「スーパーレジェーラ」チェア
4. 「ヴァレンタイン」タイプライター
5. 「マニン」インテリア
6. 「スワン」チェア
7. 「ミス・ブランチ」チェア

第2群:デザイナー

- ア. エットーレ・ソットサス
- イ. フィリップ・スタルク
- ウ. 喜多俊之
- エ. アルネ・ヤコブセン
- オ. トム・フォード
- カ. 倉俣史朗
- キ. ジオ・ポンティ

第3群:出身地

- A. 日本・東京
- B. イタリア・ミラノ
- C. オーストリア・インスブルック
- D. フランス・パリ
- E. 日本・大阪
- F. アメリカ・オースティン
- G. デンマーク・コペンハーゲン

2) 結びつけた語群のうちあなたがもっとも関心のあるグループをひとつ選び、200文字以内でその事柄について、選んだ理由やあなたの考えを述べなさい。

デザインⅢ

問1

以下の文章は、色彩について述べたものである。①～⑩に適切なことばを語群より選び記号で答えなさい。

色を混ぜて色をつくることを混色という。

絵の具を混ぜて色をつくる方法は (①) 混色である。(②) ・ (③) ・ (④) の色の組み合わせですべての色をつくることができ、② ③ ④ は (⑤) の三原色と呼ばれている。混色した色のほうがもとの色より暗くなるのが特徴である。

舞台の照明やカラーモニタのような (⑥) で色をつくる方法は (⑦) 混色である。⑥ の三原色は、(⑧) ・ (⑨) ・ (⑩) の三色で、これらを混色するともとの色より明るくなるのが特徴である。

語群：

- | | | | | | | | |
|---------|---------|--------|---------|-------|---------|--------|--------|
| a. 加法 | b. 減法 | c. 色光 | d. 色覚 | e. 色料 | f. マゼンタ | g. シアン | h. レッド |
| i. グリーン | j. イエロー | k. ブルー | l. パープル | | | | |

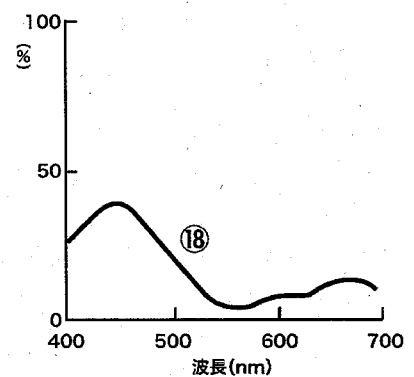
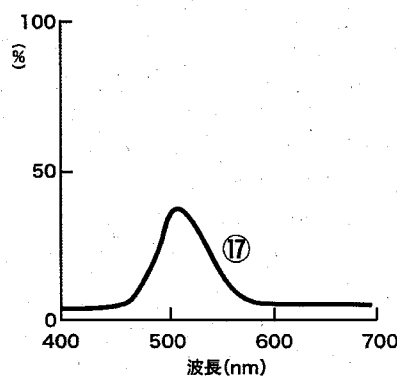
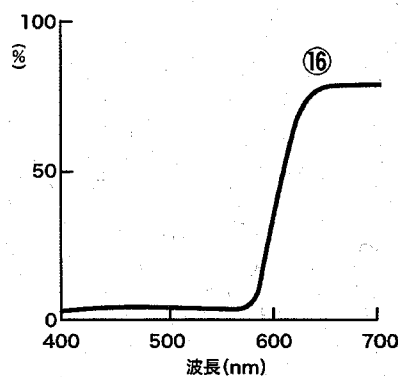
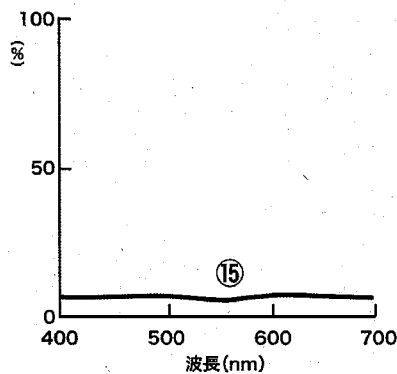
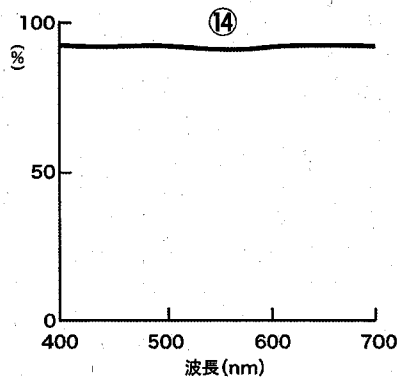
問2

以下の光と色見え方について述べた文章を読んで設問に答えなさい。

光は、物体にあると (⑪) されるか、 (⑫) されるか、 (⑬) されるかのいずれかになる。例えば、不透明な物質に光が当たったときは、光の一部が ⑪ され、残りは ⑫ する。そして、⑪ された光が人の眼に届くことで物体に色がついて見える。

また、不透明なある物体に白色光を当てたとき、波長別に白と比較して、⑪ の割合を表したものを分光 ⑪ 率 (A) という。

- 文章の空欄⑪～⑬にあてはまることばを書きなさい。
- 下のグラフは下線部 (A) のグラフ曲線で色をあらわしたものである。⑭～⑱の色を表すとき適当なものを下の語群より選び記号で答えなさい。



a. 緑 b. 青 c. 黄 d. 黒 e. 赤 f. 灰色 g. 白

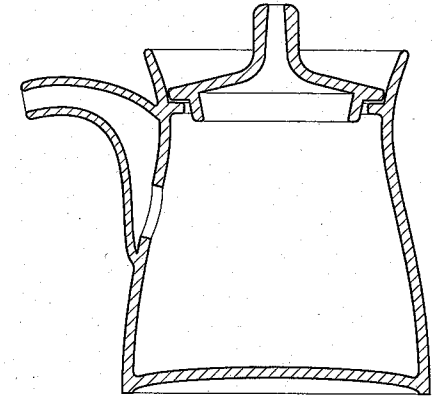
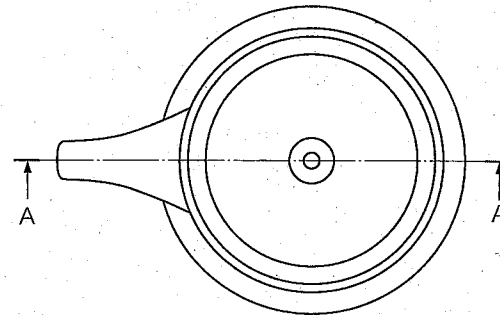
右の図面は醤油さしの平面図、側面図、正面図、中央断面図を示した等倍の簡略図です。
この図面の形状を左記の平面Hに置いた状態で鉛筆で精密にスケッチしなさい。

スケッチの大きさは実寸と同程度の大きさに見えるように描きなさい。
描く向きは醤油さしの口が左手前に見えるように表現しなさい。

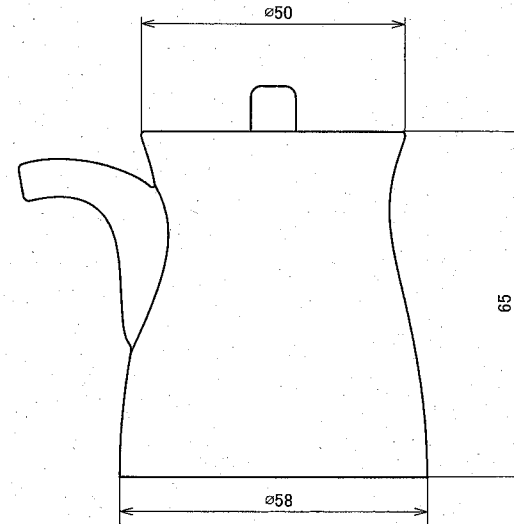
平面H

醤油さしの平面図、側面図 尺度1:1

醤油差し：白山陶器 デザイン：森正洋



断面A-A' S=1/1



仕上げ処理一覽
本体色：白 素材は陶器

志 望 学 科

受験番号

得点

第1部 建築・デザイン工学科 デザイン系プログラム